

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ



MF 15
Han Kook Young

前回、ハン グキョン選手にインタビューしたのは2010年6月。ちょうど1年前になる。長い会話が続くインタビューでは、日本語がおぼつかなく少々人見知りで口数の少ない青年だった。ただ、ピッチの上では意外なほど強気な一面を見せた。接触プレーに文句を言ってきた相手選手をにらみつける。ブーイングする相手チームのサポーターを煽る。今季もその強気と気迫のこもった熱いプレーは変わらない。変わったのは、昨年19試合にとどまった出場試合が今シーズンはケガで出遅れた開幕戦以外すべてに先発で出場していること。主力選手として、湘南ベルマーレになくてはならない存在になったハン選手に、自分自身の変化を聞いた。(インタビューは6月10日に実施)

静から動へ

これまでは「幸運」が訪れるのを待っていた。でも今は違う。いつも自分から探しに行こうとしている。サッカーでも日常でも。

本当は日本語がすべてわかっている？ 疑惑

取材を始めるも韓国語通訳の安 竜鎮さんが訳す前にハン選手が答え始める。「実は全部、日本語がわかっているんですよ。僕が訳す必要ないんです」。安さんが笑いながら説明してくれる。するとハン選手が言い返す。「そんなことないです。だめだよ、ちゃんと通訳しろよ。それで給料もらっているでしょ。僕が日本語をわかっていたら安さんの仕事がなくなっちゃうからね」。(すべて日本語)

そんな冗談めかしたやりとりから、インタビューは始まった。昨年と今年の変化を自分自身ではどう感じているのか聞いてみた。「昨年より、自分のイメージしているサッカーができています。その理由は、自分のなかに余裕ができたこと。反町監督の要求することをしっかりやって、プラス僕のストロングポイントを出すことができています。楽しみながら、向上心をもってサッカーができています。以前は監督の要求に応えることや、ゲーム中も相手選手に対応することだけで精いっぱいでした」。昨年は初めてのプロ選手生活に慣れなくて戸惑ったことや、日本語がわからなくて困難なことも多かったという。「たしかに来日当初は『言葉の壁』を強く感じていました。でも日本でプレーするのならその壁も乗り越えなければなりません。チームに慣れていくにしたがって、仲間とよく話をするようになり、日本語を覚えていった

んです。少しわかるようになってくると、自分から積極的に人に話しかけることもできるようになりました。わからない単語が出てきたら直接、相手に聞けばいいんです。そうやって知らなかったことを覚える楽しみも増えました」。

リーグ最強！ 永木選手とのダブルボランチ

コンビネーションの良さが光るハン選手と大卒ルーキーの永木亮太選手(MF No.6)とのダブルボランチについて聞いた。「亮太とは、お互いにできないことを補い合ってバランス良くプレーできていると思います。試合前、試合後には亮太だけでなく健太郎さん(大井健太郎選手/DF)も交えてよく話をします。健太郎さんは実力もあり、リーダーシップも兼ね備えた人。守備に関する的確な指示をだしてくれるので、その通りに動いたり、ポジションを修正している間違いがないんです」。現在リーグ最少失点(16節終了時点)を続けているベルマーレは、ファールや警告も少ない。身体を張って相手のボールを奪う、気持ちの入ったプレーが信条のハン選手もファールはほとんどなく警告(イエローカード)は1枚も受けていない。「自陣でのファールは命取りになるので、それは強く意識しています。それ以外の場所では、思いきったプレーをします」。そして、周囲が待ち望んでいるのが「初ゴール」。「チャンスがあれば前に出て、かならずシュートで終わ

るようにしています。早く初ゴールをあげたいですね。寝る前には必ず、自分のゴールをイメージして幸せな気持ちで眠ります。ちゃんとゴールパフォーマンスも考えていますよ。まだ秘密ですが」。もっと得点感覚を磨くのが今の課題だという。最後に通訳と兼ねている「分析」の仕事について安さんに聞いた。「監督やコーチと一緒に相手チームの試合映像を使ってストロングポイントや弱点、どんな戦術を使ってくるかを抜き出し、その上でどう迎え撃つのかを自分たちの映像を交えて、選手にわかりやすいように編集するんです。反町監督の分析はすごく細かいし、要求も高いからついて行くのが大変です」。その映像を選手に見せながらミーティングし、練習を行う。もちろん毎試合。横で聞いていたハン選手は「可哀想ですよ。自分の時間が全然ないんです。でも重要な仕事をしてくれて、選手は感謝しているんです」と日本語でねぎらった。



今季、初めてキャプテンを務めた岐阜戦

ハン グキョン Profile 183cm / 73kg
1990年4月19日生まれ(21歳) 韓国・ソウル市出身
気迫のこもったプレーで巧みにボールを奪う。最後まで衰えないスピードが武器。2010年湘南ベルマーレ入団。

10試合終了時点で首位から6位までの勝点差が4と混戦状態のJ2リーグ。これから訪れる猛暑、タイトなスケジュールを乗り越え、J1昇格を勝ち取るために戦います。スタジアムで熱い応援をよろしくお願いします。

そしてこちらは、毎年好評の七夕ユニフォーム。今年は「復興祈願七夕2011 オーセンティックユニフォーム」とし、7月のホームゲーム3試合で着用します。夜空と力強さを表現した黒のフィールドプレーヤー用と天の川をイメージしたサックスブルーのGKユニフォーム。そして東日本大震災の1日も早い復興を祈願してゴールドの星の輝きをデザインしています。GK用は早くも売り切れ。FP用(黒)のみ公式オンラインショップで発売中です。



●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて平塚競技場

節	開催日	キックオフ	対戦相手
19	7月2日(土)	19:00	東京ヴェルディ
21	※7月17日(日)	19:00	ジェフユナイテッド千葉
23	※7月31日(日)	19:00	ロアッソ熊本
3	8月7日(日)	19:00	大分トリニータ

※厚木市民デー ※茅ヶ崎市民デー

市民・町民デーチケット

「市民・町民デー」に該当の市・町に在住・在勤・在学の方は、特別価格の「市民・町民デーチケット」をご購入いただけます。

◆市民・町民デーチケット価格◆

自由席(大人): 1,500円(通常一般当日価格: 3,000円)
自由席(小中高・65歳以上): 500円(通常一般当日価格: 1,000円)
※前売り・当日ともに同じ金額です。

市民・町民デーには、それぞれの街の特色を生かした名産品の販売やイベントなども開催します



▲ベルマーレクィーンも売上げに協力!

6/12の栃木戦は寒川町民デーでした。寒川のB級グルメ「棒コロ」の販売や震災で風評被害をうけている寒川町の姉妹都市、寒河江市の特産品さくらんぼのPRが行われました。



さくらんぼのPRに訪れた寒河江市観光課長とミスさくらんぼの2人 ▲